

広報

なきじん

1998 4 No.269

毎月1日発行

●今帰仁村の人口
男4,847人(+3) 女4,800人(+6) 計9,647人(+9)
世帯数3,272戸(+7) 平成10年2月28日現在

今帰仁御神



Jリーグ・ヴィッセル神戸
上位進出をねらい
今帰仁でキャンプ

昨年Jリーグ昇格を果たしたヴィッセル神戸の選手二十四人、スタッフ十二人が二月十九日来村、さっそく村運動公園で春季キャンプを開始した。

那覇空港で行われた歓迎式には村役場をはじめ商工会関係者など二十人が出迎え、大城勝助役が「豊かな自然と環境が整った本村で、今シーズンは優勝を目指して頑張っていたきたい」とあいさつ。また仲村莉子ちゃん(六歳・今帰仁幼稚園)が今帰仁御神を思わせる艶やかな琉装に身を包み、ペニート・フローロ監督に花束を贈った。

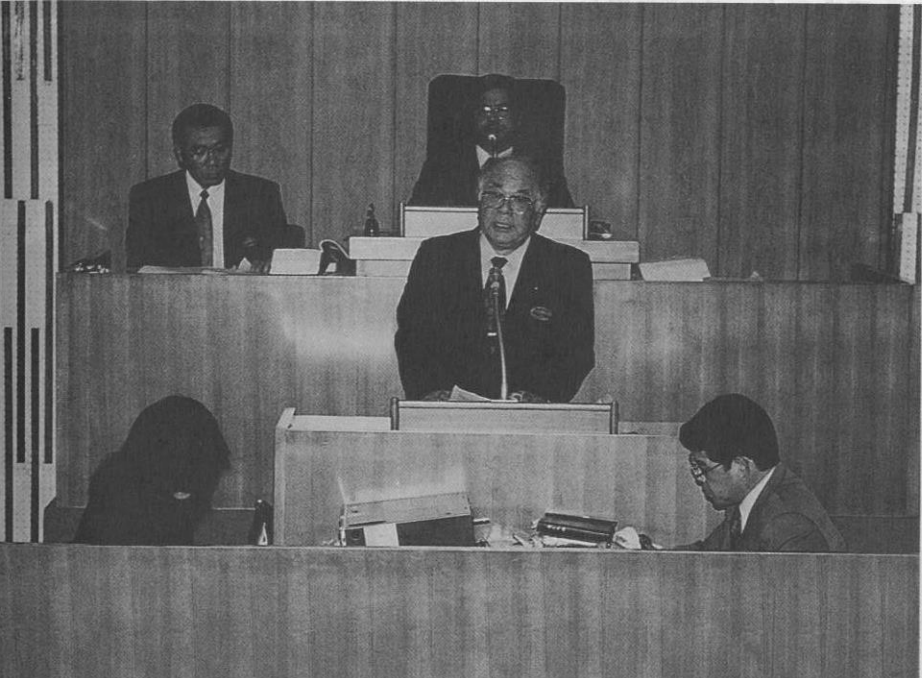
今帰仁村民憲章

- 一、 みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、 みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、 みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、 みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、 みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

財政の健全運営で

『若者が帰りたくなるむら、住んでみたいむら』を目指す

平成10年第1回定例議会での村長の施政方針



平成十年第一回今帰仁村定例議会が三月十日に開会し、三月二十七日までの日程で開かれた。今議会は、平成十年度の一般会計予算案をはじめとする十五件の議案が審議された。上間博安村長は、開会にあたり平成十年度の施政方針を以下のように述べた。村長の提案事項の説明と一般会計予算の概要を今月及び来月号で紹介いたします。

◎はじめに
本日、平成十年今帰仁村議会第一回定例会の開会にあたり、平成十年度一般会計予算案をはじめ、諸議案の説明に先立ち、村政運営にあたっての基本的な方針と所信の一端を申し上げ議員各位、村民の皆様のご理解ご協力を賜りたいと存じます。

「光陰矢の如し」と申しますが、歳月が経つのは誠に早いものであります。私は昭和六十三年八月二十三日に就任し、早くも十年目を迎えております。この十年間を顧みますと、激変の世界情勢をはじめ国内の政治経済問題、国民の志向、価値観の変化、予期せぬ天災、そして国民に大きな衝撃を与えた事件、事故、さらには沖縄の基地問題等激動の社会情勢が続き、まさしく変革の時代であったと思えます。

私はこれまで、本村の三大プロジェクトとして、古宇利架橋建設、運天港の整備、歴史文化センターの建設を掲げて取り組んでまいりました。すでに歴史文化センターは完成し、運天港の整備もかなり進んでおります。古宇利区民

をはじめ、年々旺盛な財政需要が見込まれることから、今後とも自主財源の確保は不可欠であると考えております。村の将来を展望するとき、社会資本の整備など高齢化社会の対応と若者定着に備えるため、厳しい経済事情ではあるが、企業等の誘致による自主財源の確保を図らねばならぬと考えております。

私を続けていく日本経済は、本村の税収に少なからず悪影響をおよぼしています。その反面社会の高齢化、多様化を反映して福祉、保健、環境、教育と行政需用は益々増大し、近年地方交付税が伸び悩む中、村税に対する期待は一段と高く税務行政の果たす役割は益々重要なものとなっております。

村税の徴収においては、各区長をはじめ住民及び関係機関のご協力に感謝申し上げます。

しかしながら徴収率に関しては、他市町村、他府県納税義務者の高額未納があるため、本村の平成十年度の予算案として三七・一、三〇〇千円を計上、一般会計歳入に占める割合は、七・二％となっております。

村税の最大の課題は徴収率の向上と村民皆が等しく公平な賦課徴収であります。徴収率を上げるには現年課税分を継続して高く維持する事が不可欠であり、今年度はこれまで実施してきた諸施策をさらに押し進め、税務署、県税事務所とも連携をとりながら、職員一丸となってなお一層の努力と誠意を持って徴収の向上に努めてまいります。



↑の振興を図り、一万村民と手を取り心を合わせて邁進していく所存であります。次に具体策について申し上げます。

◎予算編成について

わが国経済は、バブルの崩壊後、いまだ景気回復の軌道に乗っておらず、企業や消費者の我が国経済の先行きに対する不透明感から景気は足踏み状態となっている。

しかし、本村のような地方経済圏にあつては景気を肌で感じるまでには至っていないのが実情であり、景気浮揚の環境としては極めて弱い状況であります。そこで本村におきましては、村税の大幅な増

収が望めない状況から予算全般を見直す基本姿勢に立つとともに、歳入の適正なる確保に努め、歳出面では、既存の制度、施策の見直しを行いました。同時に経常経理の節減・合理化及び、極力財源の確保を図りつつ、各種施策の実施にあたっては緊急性等を勘案しながら厳しい事業選択を行い財源の効率的配分に努めるとともに、健全財政の堅持を基本として編成いたしました。

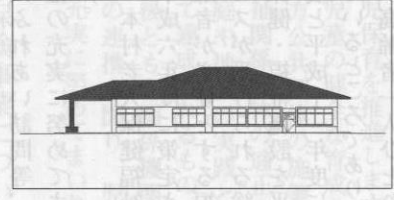
この結果、平成十年度の予算規模は五、一三四、四一九千円で前年度と比較して九、八三九千円の増加、率にして〇・一九％増となっております。主な理由は、保健センター整備事業が三〇〇、五四二千円、運天漁港局部改良事業六八、六三二千円、運天港倉庫改築事業五五、〇〇〇千円となっております。

このような状況から平成十年度は、国、県の補助金等による財源の確保ができる事業から優先的に予算措置をいたしました。ここで平成十年度一般会計の歳入、歳出につきまして、その主な内容について申し上げます。

一、歳入
歳入の四四％を占める地方交付税は、国の策定する地方財政計画及び前年度の実績等を勘案し、六二、九八七千円の増額をいたしました。また村債として主なもの、保健センター建設事業一、二、五〇〇千円、漁港建設事業一〇、二〇〇千円、道路が五条で一五〇、〇〇〇千円、村営住宅建設事業三八、七〇〇千円、兼次小学校特別教室改築事業一五、九〇〇千円、村債事業として、リフレッシュファミリーパークなきじん整備事業一七三、四〇〇千円となっております。

二、歳出
歳出については衛生費の伸びが最も大きく前年比で三〇八、七四〇千円の増額、二一七％の増であり、事業としては保健センター建設事業であります。その他主な事業は、運天漁港局部改良事業、道路改良事業(五条)、運天港倉庫改築事業、村営住宅建設事業、兼次小学校特別教室改築事業、リフレッシュファミリーパークなきじん整備事業等となっております。

なお、将来にわたって社会資本の整備を維持していくた



▲〈仮称〉保健福祉センター 完成予想図

◎税務行政について

村税は、本村にとつて最も重要な自主財源であります。最近のテレビや新聞の報道によりますと、タイから始まったアジアの金融不安や大蔵省と証券業界、銀行業界との一連の不祥事、銀行の貸し渋りによる中小企業の倒産等、我が国経済は益々混沌の度を深めており、今なお不況から脱するきざしが見られないようであり、このように低迷

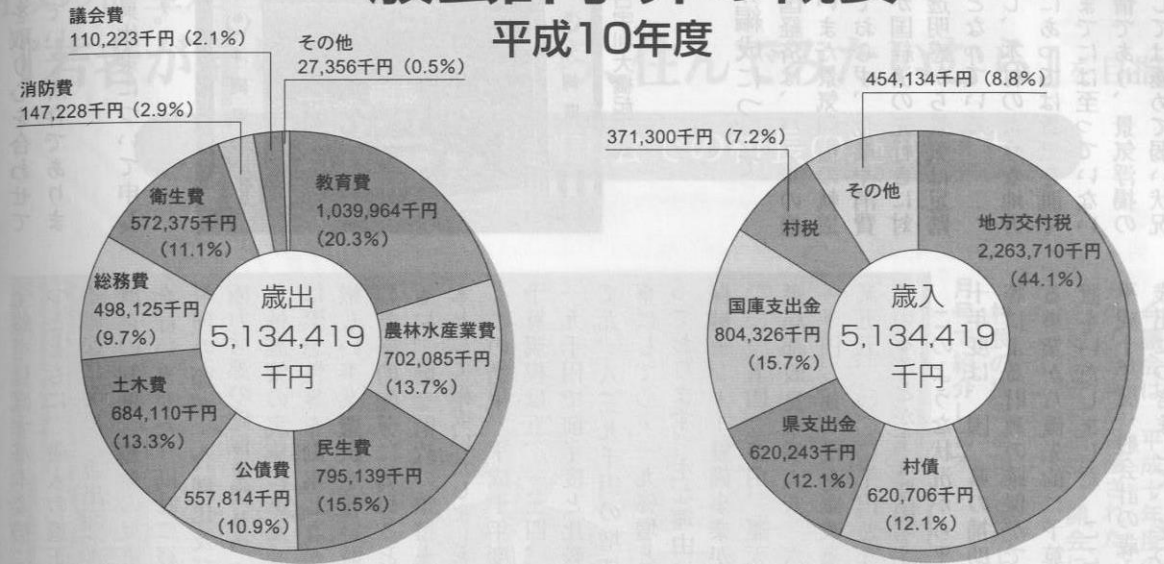
を続けていく日本経済は、本村の税収に少なからず悪影響をおよぼしています。その反面社会の高齢化、多様化を反映して福祉、保健、環境、教育と行政需用は益々増大し、近年地方交付税が伸び悩む中、村税に対する期待は一段と高く税務行政の果たす役割は益々重要なものとなっております。

村税の徴収においては、各区長をはじめ住民及び関係機関のご協力に感謝申し上げます。

しかしながら徴収率に関しては、他市町村、他府県納税義務者の高額未納があるため、本村の平成十年度の予算案として三七・一、三〇〇千円を計上、一般会計歳入に占める割合は、七・二％となっております。

村税の最大の課題は徴収率の向上と村民皆が等しく公平な賦課徴収であります。徴収率を上げるには現年課税分を継続して高く維持する事が不可欠であり、今年度はこれまで実施してきた諸施策をさらに押し進め、税務署、県税事務所とも連携をとりながら、職員一丸となってなお一層の努力と誠意を持って徴収の向上に努めてまいります。

一般会計予算の概要 平成10年度



◎老人福祉について

本村の総人口に占める高齢者の割合は、平成九年十二月末現在二三・一七%と約四人に一人はお年寄りという現状であります。長寿をすべての国民が喜びの中で迎え、高齢者が安心して暮らすことのできる社会の形成が望まれています。国民の一人ひとりが生涯にわたって真に幸福を享受できる高齢社会を築き上げていくためには保健、医療、福祉等のサービスをいっしょでも、どこでも、だれにでも、総合的に提供できるよう推進していくことが大切であります。

公的介護保険の新しい制度が二〇〇〇年(平成十二年)から実施されることから、社会保障制度に大きな関心を寄せています。超高齢化社会に備えて、家族による介護から社会全体による介護制度へと移行されることを目指してまいります。

平成十年度から介護保険計画策定に伴う要介護老人実態調査、要介護認定モデル事業が全市町村で実施され、その受け入れ体制を進めているところであります。

◎障害者福祉について

今後は、七十五歳以上の後期老人人口の割合がさらに増加していくことが予測され、平成十年度も引き続き、在宅福祉サービスとして老人訪問介護(ホームヘルプサービス)事業、老人日帰り介護(デイサービス)事業、在宅老人短期入所(ショートステイ)事業等を推進するとともに、老人日常生活用具の給付、老人クラブの助成、一人暮らし老人ふれあい訪問等、在宅福祉の充実に努めてまいります。

本村老人保健福祉計画は平成六年度に策定され、高齢者が必要とする福祉サービスが受けられる総合的な保健・福祉施設を平成十年度と平成十一年度に計画しているところであります。

高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で安心して生き生きと生活できる地域福祉、在宅福祉を推進し、活力のある長寿村を目指していく所存であります。



をを図る目的で保健事業が進められております。

また、「健やかに老いる」こと等しく求められ、このような課題を達成するには「自らの健康は自ら守る」という自己管理に対する認識が必要であります。特に自己の健康チェックを真剣に取り組むことが村民一人ひとりが遵守すべき責務であると考えられます。そのためには、効果的な健康教育を進め、健康に対する正しい知識をより深め、全体的な普及活動を図ることが重要であります。

本村といたしましては、健康相談、健康診査、機能訓練、健康手帳交付、訪問指導等を積極的に推進し、特に住民検診については対象者の皆受診を目標に受診率を高め疾病の早期発見、治療、予防に努めてまいります。

老人医療費増大への対応については、現在、社会的な問題として老健施設の受入等、該当しない医療費の請求による市町村の財政難が新聞等にも掲載されております。本村におきましても、介護者の意識調査並び



成、障害児(者)の社会参加を促進し、住宅福祉の充実を図るための身体障害者ホームヘルプサービス事業、心身障害児通園事業の実施、日常生活用具の給付、重度心身障害児(者)医療費助成、更生医療の給付、補装具の給付、更生援護施設や更生指導所への入所措置、身体障害相談員の活動等、障害者福祉の充実に努めてまいります。障害者福祉に関する施策の総合的かつ計画的な推進は、村障害者保健福祉計画を基本に、より障害者にやさしい住みよい福祉むらづくりを目指していく所存であります。

◎地域福祉について

社会的に弱い立場にある者を心身ともに健やかに育成していくためには、地域の理解と協力が大切であり、また、各分野の活動に参加する機会を与え、自ら自立する精神を培う必要があります。

本村社会福祉協議会を中心に村コミュニティセンターを地域福祉活動の拠点として、障害者や高齢者等、地域の福祉ニーズに応える

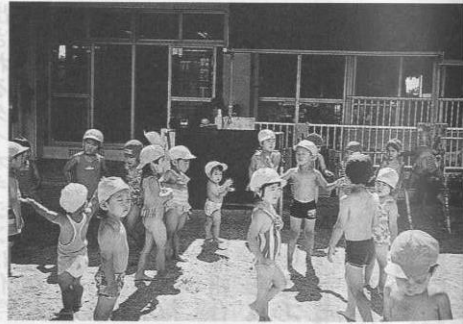
◎児童福祉について

ための各種事業の推進、福祉に関する諸問題の改善等、活動を展開しているところであります。平成十年度も引き続き老人デイサービス事業、老人及び身体障害者ホームヘルプサービス事業、心身障害児通園事業を村社協に委託するとともに、一人暮らし老人ふれあい訪問、心配ごと相談等、地域福祉、在宅福祉の充実に努めてまいります。また、おとば学園の育成と障害者や高齢者の社会参加、生きがいづくりの場として地域交流プラザ・パルのより充実した運営を図るものであります。

今後とも、地域福祉の推進母体となる村社協、村民生児童委員会の活動を推進するとともに保健、医療、福祉の連携により、障害者も高齢者も可能な限り在宅、地域で普通に生活できるように、ノーマライゼーションの理念のもとに社会福祉の充実を図り、うるおいと安らぎのある村づくりに努めてまいります。

◎児童福祉について

保育所は、子どもが生涯にわたる人間形成の基礎を



培う重要な場であり、家庭や地域との連携を密にして、健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意するとともに、現在をよき生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うことを目指していく必要があります。近年、女性の社会進出を背景に少子化の進行、児童及び家庭をとりまく環境の変化などで保育需要が多様化している現状であります。

このような状況に対応して子育てしやすい環境の整備を図り、次代を担う児童の健全な育成と、児童福祉制度に対する支援と理解が求められています。保育事業につきましては、

◎保険事業について

健康な老後を確保するには、壮年期からの健康管理が大切であり、疾病の早期発見、予防等、適切な医療の実施が第一条件であります。

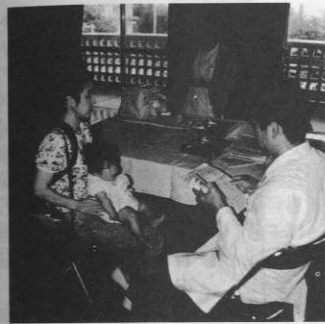
村民が等しく快適な日常生活を送ることこそ幸せであり、すべての村民が願望していることであります。このような村民の保健の向上並びに、老人福祉の増進

にこれまで同様レセプト点検の充実、医療費通知の実施、第三者行為求償の充実等、医療費の適正化を図ると同時に、本村の健康づくり推進協議会との連携を密にし、健康講座の実施、健康まつりへの全村民参加の呼び掛け等、あらゆる機会をとおして健康の原則を再確認しながら、住み良い、明るい健康村づくりのために積極的に取り組んでまいります。

◎母子保健及び予防接種事業について

母子保健事業の移譲に伴い、住民に必要な母子保健サービスを適切に提供することができるよう母子保健に関する効果的な施策を総合的に推進することが、各市町村に義務付けされているところであり、

母子保健事業は妊娠、出産、育児、その他健やかな子育てについて一環した適切な指導と援助が必要であります。また、母子保健の問題は、住民生活に直結したものであり、地域の実状に応じたきめ細やかな施策が要求されるため、今後とも母子保健事業の充実強化を図り各種の事業を効果的に実施してまいります。



各種の予防接種事業については、予防接種法に基づき市町村長が執行することになっております。対象疾病の接種については、各学校の協力を得ながら、住民の理解と事業の趣旨及び目的にそって集団接種並びに個別接種を計画的に実施して、公衆衛生の向上に寄与していきたくと考えております。

乳児医療費助成事業についても、乳児の保健の向上と、健やかな育成を図り助成効果が達成できるよう引き続き乳児医療費助成事業を進めてまいります。

日常生活及び、その他排出される廃棄物は、生活水準の向上、産業構造の変化等に伴い量的増大と、質的多様化を生じ、その適正な処理が環境及び公衆衛生の向上を図る上で重要な問題となっております。

廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により家庭等から排出される一般廃棄物及び事業活動に伴って生じる産業廃棄物に区分され、その処理については一般廃棄物は市町村、産業廃棄物は各事業者の責任において法令に定める処理基準に従って適正な処理を行うことになっております。

昨年来、ゴミ焼却場から排出されるダイオキシンは化学物質で発ガン性や催奇性などの毒性があるとの報告がなされ社会的な問題として解決しなければならぬことはご承知のとおりであります。

本部町、今帰仁村清掃組合におきましては、平成七年度より進めてまいりましたゴミ、粗大ゴミ処理施設の完成により試運転とともに業務を開始してまいります。同時にダイオキシン検出調査も実施す



る計画で関係各機関とも調整しているところであり、

今後とも清掃組合、本部町、今帰仁村が連携を密にしてダイオキシン問題、正しいゴミの出し方、資源化(リサイクル)等、さらに塵芥し尿処理問題も含めて、村民のご理解とご協力を得ながら環境衛生全般を積極的に推進してまいります。

◎保健福祉センター

〔仮称〕建設計画については、健康で一生を過ごすこと、健康で一人の人生の願いであり、人生八十年時代の健康と生きがいの確保を目指すための何よりの前提であります。

健康で生き生きとした生活を営むためには、村民一人ひとりが日常生活において「自分の健康は自分で守る」を合い言葉に積極的な健康づくりを実践していくことが大切であります。

かかる社会の要望等、高齢社会の到来により、障害をもつ方、健康な方、すべての方々の利活用のもと、平成十年度に保健センターを建設推進するものであります。保健センターは、保健事業を進める基本施設としての役割があり、村民の健康の保持及び増進を図るため保健相談、保健指導、健康診査、健康教育等、自主的な保健活動の場の提供、その他地域保健に関する必要な事業を推進する目的であります。

建設整備に向けた各機関との諸調整など積極的に取り組みながら、村民が喜んで健康づくりができる施設として整備し明るい村、健康な村づくりのために誠意をもって進めてまいります。

集まれ、輝け、今帰仁っ子 第14回村子どもまつり 大にぎわい



▲感謝状を手に喜びのお二人



▲大人顔負けの三線演奏を披露する古宇利子ども会の皆さん

エイサー、ダンス、合唱、実践発表など次々と繰り出される大人顔負けの舞台に、会場から盛んな拍手が送られた。

子ども会まつりの運営はすべてジュニアリーダー役員(中学生)を中心に進められ、来年はさらに呉我山子ども会も参加、これで子ども会活動も一段と強化されることになった。

また、これまで長年子ども会育成連絡協議会の副会長として、子ども会の振興発展と青少年の健全育成に努力した功績により、嘉陽宗敬(湧川一七七)と与那嶺清子(仲尾次三三四)が表彰された。

「村母子寡婦福祉会」再結成 母子寡婦家庭の安定した生活を目指す

全国的に若年母子家庭が年々増加、母子寡婦家庭の実態は依然として厳しい雇用情勢の中で、不安定な就業、子育てをめぐる様々な環境問題などが山積みされている。

このような状況を踏まえ、本村においても行政及び各関係機関の支援のもと、母子寡婦会員の自助努力により、村母子寡婦福祉会が再

結成された。

その再結成会が二月二十八日、村コミュニティセンターで行われ、民生委員をはじめ関係者五十人が出席した。

再結成会で西平良子村母子寡婦福祉会会長は「会員みんなで力を合せて直面している諸問題を乗り切りましょう」とあいさつした。



▲再結成会の成功を期し熱心に聞き入る関係者

地域活性化をみんなで考える 第六回むらづくり講演会

三月六日、「農業と観光の複合的展開による地域活性化」と題したむらづくり講演会が村コミュニティセンターで開催され、村内外から関係者多数が詰め掛けた。

来々となる雰囲気づくりが大勢であると鋭く指摘した。

講師は名桜大学国際学部観光産業学科助教授の小濱哲氏。

また、ワルミ架橋の実現により羽地内海周辺道路ができ、最高の観光地となるので、名護市に先がけて今帰仁で仕掛けて財布をあげさせるアイデアづくりの必要性を説いた。

講演は名桜大学国際学部観光産業学科助教授の小濱哲氏。小濱氏は、今帰仁村には多くの観光名所があり、訪れる観光客を素通りさせない仕掛けが必要である。そして観光客の知的好奇心を刺激し、また

現在本村は観光リゾート振興計画を策定中で、今回の講演会を足掛かりにさらなる観光産業の活性化を期待したい。

今帰仁村子ども会育成連絡協議会(喜屋武治樹会長)主催の「村子どもまつり」が三月八日、村コミュニティセンターで開かれ、各子ども会が日ごろ取り組んでいる多彩な活動の成果を披露した。

観光産業の活性化について熱く語る小濱助教授

北山高校創立50周年 その草創期を顧みる(4)

運天政 一 一若鷺から赤鷺へ・その歴史的飛翔一



校章「若鷺」が、学校創立ほどなく一期生の手によって誕生したことは意義深く、今でも誇らしく思うのだが、その誕生がささやかならば、またその運用も誠にささやかであつた。当時、物資面はすべてに乏しく、何事につけ手作りの時代で、男生徒はアメリカ製ビル空き缶(黒塗り)を利用して創った校章(裁断した空き缶材に若鷺を型どり、その部分以外のところを削り取って黒く浮かび上がらせる)を帽子に取り付け、女生徒は黒生地(ネルトン生地)にバラシユート用材の白糸で刺繍して創った校章を胸に、高校生活をおくった。スポーツに縁のなかつた一期生には「赤鷺」もまた無縁であつた。

北山は二期生の時代に入り、バレー、バスケット等他のスポーツをすべて割愛して陸上一本に絞り、小浜一芳先生指揮による特訓につぐ特訓(島袋昭一・二期生・懐古談)、雌伏半年を期して待ったのである。

校の学生であつた私は、この日、文教、外語も参加するにあつて、早々と首里の学寮を出て徒歩で坂下をおり戦後いち早く商業地域として立ち上がり方をみせた栄町ロータリー(この名称を先日初めて湧川善三郎さんに伺つた)の一角に新店舗を構えた湧川商会の、その開店前の新棟に投宿していた選手や先生方と対面、小浜先生はじめ選手や先生方の並々ならぬ闘志を感じたのである。

開会式の印象は残っていないのだが、式の始まる前に各学校の選手達が、それぞれユニホーム姿になって隊列を組み、整備された(といっても石灰でラインを引いただけ)トラックに沿って整然とジョギングしている姿がきわめて印象的であつた。

現在の陸上競技大会では思いもよらないことだが、当時(それ以後もしばらくの間)はこのパフォーマンスは、いわば学校



▲赤鷺の初舞台ー
第1回全島高校陸上競技大会(1949.11.4)に出場した母校選手団の雄姿

ごとのデモンストレーションであり、これによってある程度その学校の品定めをしたものであるが、あの胸一杯に躍動する「赤鷺」のジョギング隊列の格調の高さが忘れられない。(やはり、手前味噌?)

競技が始まるにつれ、次々と予選をクリアし、この赤鷺のマークがいやでも目についてくるようになった。それぞれ母校の応援をすることになった外語の同期の連中も「この赤鷺のマークはどこの高校か」と連発するようになり「いや、なに我が母校北山デネ」と小さく呟き、腹の中では「ざまーみるー」と思いつきり叫んでいたことを思い出す。

特に大会の掉尾を飾った千六百メートルでは、スタートを切った金城民定(故人・二期生・上運天)が初めからトップにでて、一走の大城修(二期生・玉城)、三走の島袋昭一(二期生・仲尾次)がそれぞれリードを広げ、アンカー 諸喜田実(三期生・謝名)が、ゴールするときには五十米ほど二位を引き離してダントツの一位。四分四秒四の記録とともに、北山の名をそして赤鷺のマークをいやが上にも印象付けたのである。

かくして、ささやかに誕生した若鷺は、誕生わずか一年にして北山健児の胸一杯の赤鷺に逞しく成長、第一回全島高校陸上競技大会の大会場に雄々しく飛翔したのであつた。

翌年、那覇高校グラウンドで行われた第二回大会ではこの四分四秒四の記録を、喜友名盛広(三期生・崎山)、大城光雄(三期生・天底)、新城照雄(四期生・今泊)、諸喜田実(連続)があつさり塗り替え(四分を割る新記録)、千六百メートルは北山のお家芸になったのである。(同窓生は敬称を略します。)

写真にみる今帰仁

90

今泊の東上原の人々

今帰仁村今泊の南方の山手に東上原(アガリウイバル)と長嶽(ナガタキ)の二つの集落がある。東上原の一部は、かつて志慶真村(ムラ)のあつた場所である。戦前東上原は三十世帯余り、

いと志慶真川まで水汲みに行かなければならず、飲料水の確保が大変だったという。上の写真(松田亀吉氏提供)は昭和三十四年に東上原の人々が今帰仁城跡の駐車場

でエイサーをしている場面である。エイサーは東上原の一軒一軒を回り、酒や寄付を募りながら最後は今帰仁城跡の駐車場で終る。輪の真ん中で三味線を弾いているのは左が

玉城利光氏、右が比嘉利進氏、島太鼓を叩いている人もいる。おばあ達(吉田ウシさんと当銘カミさん)は着物姿、若い女性達は洋服姿で踊っている。エイサーには老いも若きも参加し、頭には手ぬぐいを被り、履物は雨靴や草履ばかりである。水筒を片手に踊っているのは池原源光氏で、水ではなく泡盛が入っていたのである。エイサーは昭和四

戦後は昭和三十年代まで二十世帯程あつたのが、今では九世帯の小規模な集落となっている。

戦前は下のムラウチ集落と東上原をつなぐパシタ道とハタガシ道があつた。二つの道は人が通れる程の小さな原道であつた。戦前、三十軒近くの家々が集落を形成し、いくつか雨水のたまる井戸があつたが、雨量が少な



▲城跡の駐車場でエイサーをする東上原の人々(昭和34年)



▲引っ越しの手伝いに来た隣近所の人達(昭和38年)

東上原に三十軒近い家があつた頃、サターヤ(砂糖工場)があり、青年団やクラブ会なども結成され、旧三月三日か四日には学事奨励会を行なつていた。また旧十月十日には、毎年品評会が開かれ農作物や家畜などの優良を競つた時代があつた(「今帰仁村史」)。又東上原独自でエイサーを行なうなど、人々の力は今では驚きである。

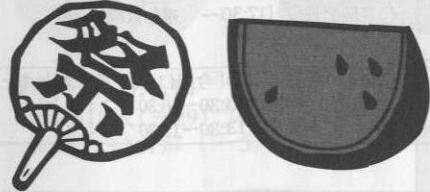
仲原弘哲

(歴史文化センター)

第1回 今帰仁すいかまつり

すいかをおいしく食べるコンテストやイベント、フラワーロードなど、今帰仁村の自然を楽しめる企画がいっぱいあるよ(珍しいすいかもあるよ)

“さあ家族そろって出かけよう”



期日 平成10年5月23日(土)・24日(日)
場所 「今帰仁の駅」そーれ(中央公民館横)
主催 今帰仁スイカまつり実行委員会

お知らせ

今帰仁診療所では、言語訓練、“一歩の会”が誕生しました。一歩の会とは、ゆっくと着実に、一歩、一歩、みんなで歩いていこうということで命名されました。「ことば」のことで悩んでいる、小児から成人まで、ぜひご相談ください。

ことばのくんれん

- ◎失語症
- ◎運動障害性構音障害
- ◎発音が悪い
- ◎呼んでも振り向かない
- ◎なかなかことばが増えない
- ◎ことばを話さない
- ◎どもる
- ◎その他

連絡先: 今帰仁診療所
今帰仁村字謝名139 ☎0980(56)3581

今中創立五十周年記念事業期成会(宮城康吉会長)は、創立五十周年記念事業募金活動の一環として二月二十、二十一日の両日、大阪在住の今帰仁中出身の皆さんを対象に事業及び寄付依頼の説明会を開いた。説明会には期成会長他、関係者三人が同行、県出身者の経営する店で玉城豊進今帰仁村人会会長をはじめ今帰仁中出身者二十人程が参加して行われ、和やかな雰囲気の中、ふ



▲募金運動の委嘱状交付式

るさと今帰仁に寄せる思いをひしひしと感じた。また、上地美代次さん(上運天出身)他六人に委嘱状が交付され、創立五十周年記念事業成功に向けて募金運動を展開することになった。

今中創立五十周年記念事業期成会 大阪で募金運動を展開

沖縄県の最低賃金

最低賃金 きっちりチェック しつかりキャッチ

沖縄県内の使用者は、この最低賃金額より低い賃金で労働者を使用することはできません。

(1) 地域別最低賃金

最低賃金の件名	最低賃金額	適用範囲	効力発生日
沖縄県最低賃金 (地域別最低賃金)	日額 4,625円 時間額 579円	沖縄県内のすべての労働者及び使用者に適用されます。 ただし、下記の産業別最低賃金対象業種に該当する場合には、当該最低賃金が適用されます。	平成9年9月30日

(2) 産業別最低賃金

最低賃金の件名	最低賃金額	適用範囲	効力発生日
畜産食料品製造業	日額 4,937円 時間額 618円	・肉製品製造業 ・乳製品製造業 ・その他の畜産食料品製造業	平成9年12月13日
糖類製造業	日額 5,000円 時間額 625円	・砂糖製造業 ・砂糖精製業 ・ぶどう糖・水飴・異性化糖製造業	平成9年12月12日
清涼飲料・酒類製造業	日額 4,945円 時間額 619円	・清涼飲料製造業 ・ビール製造業 ・蒸留酒 ・果実酒製造業 ・清酒 ・混成酒製造業	平成9年12月10日
新聞業	日額 5,249円 時間額 656円	・新聞業	平成9年12月12日
各種商品小売業	日額 4,855円 時間額 607円	・百貨店 ・その他の各種商品小売業	平成9年12月7日
自動車(新車)小売業	日額 4,852円 時間額 606円	・自動車(新車)小売業	平成9年12月6日
自動車小売業 (凍結)	日額 4,630円 時間額 579円	・自動車小売業(二輪自動車小売業(原動機付き自転車を含む)及び自動車(新車)小売業を除く。)	平成7年12月6日

ただし、次に掲げる者は(2)の産業別最低賃金から除外され(1)の地域別最低賃金が適用されます。
①18歳未満又は65歳以上の者 ②雇入れ後6月未満の者であって、技能習得中のもの
③清掃又は片付けの業務に主として従事する者

※最低賃金に算入されない賃金……①精皆働手当、通勤手当及び家族手当 ②臨時に支払われる賃金
③1箇月をこえる期間ごとに支払われる賃金 ④時間外、休日労働割増賃金等

※最低賃金に関する問い合わせは、沖縄労働基準局 賃金課〈電話(098)868-3421〉又は最寄りの労働基準監督署へ。

那覇労働基準監督署 電話(098)868-3344
沖縄労働基準監督署 電話(098)982-1263
名護労働基準監督署 電話(0980)52-2691
宮古労働基準監督署 電話(09807)2-2303
八重山労働基準監督署 電話(09808)2-2344

働くあなたと家族を守る労働保険

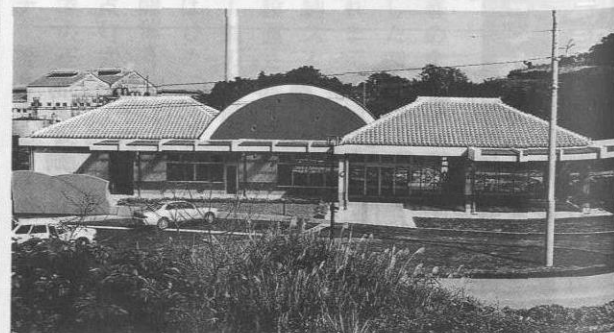
労働保険(労災保険、雇用保険)への加入は事業主の義務です。未手続の事業主の方は早めに手続をしましょう!

〈沖縄労働基準局・労働基準監督署〉



村社会福祉協議会へ
○諸喜田政子さん(古宇利一〇五九)より夫、徳仁さんの香典返しとして五万円。
※ご芳志ありがとうございます。

ご寄付



「今帰仁の駅 そーれ」

4月29日(水)オープン

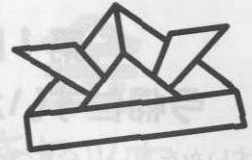
そーれでは、皆さまから商品を預かり、今帰仁村の農林水産物の直売、加工品の研究の他、特産品の展示販売を行います。お預かりした商品の売り上げから手数料をいただき、委託販売方式を採用します。気軽にご利用下さい。もりだくさんのイベントも定期的で開催する予定ですので、皆さまのお越しをお待ちしています。

(詳しくは、経済課 TEL 56-2101まで)



村民カレンダー

4月/卯月



10	金	○幼児ことばの教室(土日、祝祭日除く毎日)(9:00~17:00 コミセン) ○デイサービス(土日、祝祭日除く毎日)(9:00~17:00 コミセン)
11	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン)
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	○心配ごと相談(13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30 コミセン)
16	木	○牛セリ(セリ市場)
17	金	○区長会(14:00~ 2階会議室)
18	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン)
19	日	○村野球大会
20	月	○村親善チャリティーゴルフ大会(嵐山ゴルフ倶楽部)
21	火	
22	水	○心配ごと相談(13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30 コミセン)
23	木	○デイケア
24	金	○北山老人大学開講式(14:00~ コミセン)
25	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン)

26	日	
27	月	○DPT予防接種
28	火	○月例記録会(17:30~ 運動公園) ○こいのぼり掲揚式
29	水	○みどりの日 ○「今婦仁の駅 そ〜れ」オープン ○心配ごと相談(13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30 コミセン)
30	木	

5月/皐月

1	金	
2	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン)
3	日	○憲法記念日
4	月	○振替休日
5	火	○こどもの日
6	水	○区長会(14:00~ 2階会議室) ○心配ごと相談(13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30 コミセン)
7	木	
8	金	○ポリオ予防接種
9	土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00 コミセン) ○やんばる駅伝伊江島大会

■二月下旬のある朝、私がいつものように子供たちを学校へ送るため車を走らせていると、あるものが突然私の車に飛び込んできた。私は思わずハッと息をのみまさかと思いつつ車の下をのぞいて見ると、それはまぎれもなく一匹の子犬の姿であった。

■案の定、子犬はその場にぐったりとしていたのでもはやこれまでかと思いがらとりあえず飼いに連絡、引き取ってもらったことにした。

■子供たちは「お父さん、子犬はどうなったの」としきりに子犬の身を案じ、そのたびに私は何と云っていいのかわ返事に困った。

■このような体験は、私と子供たちにとって生まれて初めてのことでだけにこの日は、とても心の痛い一日となった。

■その後何日か経ったある日、知人からあの子犬が元気にピンピンしているとの話を聞き、驚きとともにホッと胸をなでおろし動物の生命力の強さにあらためて感動させられた。

